2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場会社名　川辺株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8123　URL https://www.kawabe.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 岡野　将之
問合せ先責任者　(役職名) 取締役経営管理統括本部長　(氏名) 有田　二郎　TEL 03-3352-7110

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	2,812	△7.8	△154	―	△94	―	△81	―
2026年3月期第1四半期	3,048	12.1	23	―	52	―	34	―

(注) 包括利益　2027年3月期第1四半期　196百万円　(―%)　2026年3月期第1四半期　14百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△44.55	―
2026年3月期第1四半期	19.08	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	12,709	7,549	59.4
2026年3月期	12,746	7,443	58.4

(参考) 自己資本　2027年3月期第1四半期　7,549百万円　2026年3月期　7,443百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	―	―	50.00	50.00
2027年3月期	―				
2027年3月期(予想)		―	―	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,118	0.6	215	11.6	350	8.7	230	23.0	126.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	1,861,000 株	2026年3月期	1,861,000 株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	36,252 株	2026年3月期	36,222 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	1,824,767 株	2026年3月期1Q	1,824,830 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー ： 無

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（会計方針の変更） …… 8
（重要な後発事象） …… 8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間（2026年４月１日～2026年６月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や賃上げの浸透を背景に、個人消費は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇や円安による輸入コストの増加、エネルギー価格及び物流コストの高止まりに加え、世界的な地政学リスクなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当アパレル・ファッション業界におきましては、インバウンド需要は一定の水準を維持したものの、消費者の生活防衛意識は依然として強く、中高価格帯商品の購買には慎重な姿勢が続きました。一方で、専門店やＥＣ市場では新たな需要の取り込みが進み、市場環境は販路ごとの差が鮮明となりました。

このような環境のもと、当社グループは、2026年５月に公表いたしました「中期経営計画2026」に基づき、「グループシナジーの最大化」を基本方針として、新規売上の獲得、コスト削減、生産性向上及び収益拡大に取り組んでまいりました。また、重点戦略である新規販路・新規売上の拡大、ＥＣビジネスの強化、新規事業の展開及びデジタル戦略の推進を進めるとともに、生産機能を有するグループの強みを活かした商品供給力及び提案力の強化、オリジナル商品及びキャラクターＩＰ商品の販売拡大に努めました。売上高につきましては、イベント販売の拡大やＥＣ販売の強化、新規販路の開拓、オリジナル商品及びキャラクターＩＰ商品の販売拡大に取り組み、新規売上の獲得を進めました。しかしながら、前連結会計年度に契約満了となった一部ライセンスブランドの売上減少を完全に補うには至らず、量販店市場の低迷や一部既存販路の縮小などの影響もあり、前年同期を下回る結果となりました。利益面につきましては、原材料価格や物流コストの上昇が継続する中、一部商品の価格改定を実施するとともに、グループシナジーを活かしたコスト削減、生産性向上、販売費及び一般管理費の適正化を推進した結果、売上総利益率は一定水準を維持し、収益性の確保に努めました。

その結果、当社グループの当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高28億12百万円（前年同期比92.2%）、営業損失１億54百万円（前年同期営業利益23百万円）、経常損失94百万円（前年同期経常利益52百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失81百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益34百万円）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

身の回り品事業

ハンカチーフに関しましては、売上18億10百万円（前年比88.9%）となりました。前年と比較すると、インバウンド好適ブランドの終売に伴うマイナスインパクトが大きく、その実績をカバーしきれない状況でしたが、それを見込んだ当社単体の売上予算では、101.3%と計画通りに進む結果となりました。また、POLO RALPH LAURENやキャラクター商品などが売上を下支えしたことに加え、JILL STUARTと株式会社ナルミヤ・インターナショナルのキャラクター「ベリエちゃん」とのコラボが人気となり、発売当日には品切れする店舗が続出いたしました。
そして、今年から展開が始まったアルミ蒸着を施したマルチに活用できる「包める保冷ハンカチ」が猛暑対応アイテムとして、様々な販路の店舗より採用を頂き、ハンカチーフアイテムとして新たな人気商品となりました。

スカーフ・マフラーに関しましては、売上97百万円（前年比90.0%）の結果となりました。ファッションのトレンドとして、小さいサイズ及びリボンタイプから通常のサイズまで、全般的にシルクスカーフが売上を牽引する状況となり、大型連休から母の日にかけては好調に推移したものの、５月中旬から６月にかけて低調な推移となり、当社単体予算比でも91.1%の結果となりました。

タオルに関しましては、売上1億99百万円（前年比89.0%）の結果となりました。昨年のテレビ通販の実績をカバーできなかった結果となりましたが、イベントなどの強化により、当社単体予算比では、103.7%の結果で推移しています。

雑貨に関しましては、売上２億４百万円（前年比89.5%）となりました。百貨店における業態変更の他社売上が寄与しましたが、シーズン性によってアイテム売上に大きく影響することもあるパラソルなどが、６月の梅雨寒の影響により前年と比べ大きく数字を落とし、当社単体の予算比でも98.9%の結果となりました。

その結果、身の回り品事業全体では、売上23億12百万円（前年比89.0%）となりました。しかし、当社単体予算比では100.6%と計画通りに推移している状況です。

フレグランス事業

フレグランスに関しましては、売上４億99百万円（前年比110.8%）となりました。また当社単体予算比では94.5%の結果となりました。

百貨店部門につきましては、全国の百貨店売上が前年を上回る堅調な推移となり、インバウンド需要の回復や円安を背景に高額品市場が好調に推移するなか、当社フレグランス店舗の売上も前年を上回りました。単一ブランド店では、CREED、ACQUA DI PARMA、BVLGARIが売上伸長を牽引し、特にCREED伊勢丹本店およびACQUA DI PARMA銀座シックス店は大幅な増収となりました。一方、複数ブランドを集積して販売している店舗については、前期から続く厳しい販売環境の影響を受け、引き続き苦戦を強いられる結果となりました。

ホールセール部門につきましては、収益性の高いブランドブティック向け卸売は堅調に推移したものの、前年に導入したブランドの販売が２年目を迎え、一巡感がみられたことから、売上は前年を下回りました。

以上のことから全事業といたしましては、ハンカチーフ、スカーフ・マフラー、タオル・雑貨は前年同期を下回ったものの、フレグランスにおいては前年比110.8%と伸長いたしました。その結果、売上高は前第１四半期連結累計期間と比べ92.2%となりました。

上記の売上高減少の影響から売上総利益額が減少したことに加え、販売費及び一般管理費が前年を上回った結果、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結累計期間における「資産合計」は、前連結会計年度末の127億46百万円から127億９百万円となりました。これは主として、現金及び預金の減少、受取手形及び売掛金の減少、商品及び製品の増加、投資有価証券の増加によるものであります。

「負債合計」は、前連結会計年度末に比べ１億41百万円減少し、51億60百万円となりました。

これは主として電子記録債務の増加、支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の減少、長期借入金の減少、未払法人税等の減少によるものであります。

また、「純資産合計」は前連結会計年度末に比べ１億５百万円増加し、75億49百万円となりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間における総資産は、前連結会計年度末の127億46百万円から127億９百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、2026年５月12日発表の「2026年３月期決算短信」の連結業績予想から変更しておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,783,715	1,543,649
受取手形及び売掛金	1,903,409	1,372,677
商品及び製品	2,532,451	2,863,493
仕掛品	80,080	95,508
原材料及び貯蔵品	242,811	220,572
その他	216,911	240,057
貸倒引当金	△131	―
流動資産合計	6,759,248	6,335,959
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	766,894	752,433
工具、器具及び備品（純額）	99,798	93,101
土地	1,099,724	1,099,724
その他（純額）	101,088	96,238
有形固定資産合計	2,067,506	2,041,498
無形固定資産	202,468	197,950
投資その他の資産		
投資有価証券	1,650,995	2,075,628
投資不動産（純額）	1,547,022	1,540,832
繰延税金資産	85,067	83,601
その他	433,854	434,427
投資その他の資産合計	3,716,939	4,134,489
固定資産合計	5,986,914	6,373,939
資産合計	12,746,162	12,709,898

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年６月30日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	―	974,590
支払手形及び買掛金	1,567,418	659,630
短期借入金	1,800,000	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	188,728	183,592
未払法人税等	75,485	20,926
賞与引当金	34,879	12,994
その他	581,542	493,986
流動負債合計	4,248,053	4,045,719
固定負債		
長期借入金	268,862	222,964
退職給付に係る負債	381,226	389,447
資産除去債務	45,721	45,175
繰延税金負債	213,916	311,956
その他	144,455	145,187
固定負債合計	1,054,182	1,114,730
負債合計	5,302,235	5,160,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,391,067	3,391,067
利益剰余金	3,415,083	3,242,548
自己株式	△55,679	△55,720
株主資本合計	6,850,471	6,677,895
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	525,625	809,956
繰延ヘッジ損益	4,738	1,351
為替換算調整勘定	43,352	45,441
退職給付に係る調整累計額	19,738	14,804
その他の包括利益累計額合計	593,456	871,553
純資産合計	7,443,927	7,549,448
負債純資産合計	12,746,162	12,709,898

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年６月30日）
売上高	3,048,784	2,812,148
売上原価	1,644,614	1,570,425
売上総利益	1,404,169	1,241,722
販売費及び一般管理費	1,380,528	1,395,850
営業利益又は営業損失（△）	23,640	△154,128
営業外収益		
受取利息	1	11
受取配当金	11,332	16,426
投資不動産賃貸料	44,965	48,040
持分法による投資利益	―	625
その他	7,856	25,467
営業外収益合計	64,156	90,571
営業外費用		
支払利息	8,044	9,616
不動産賃貸費用	20,703	20,808
持分法による投資損失	5,945	―
その他	981	897
営業外費用合計	35,675	31,322
経常利益又は経常損失（△）	52,121	△94,878
特別損失		
賃貸借契約解約損	―	3,719
特別損失合計	―	3,719
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	52,121	△98,598
法人税等	17,294	△17,301
四半期純利益又は四半期純損失（△）	34,827	△81,296
非支配株主に帰属する四半期純利益	―	―
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	34,827	△81,296

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年６月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	34,827	△81,296
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,781	284,330
繰延ヘッジ損益	△7,762	△3,386
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,145	2,088
退職給付に係る調整額	△20,754	△4,934
その他の包括利益合計	△19,881	278,097
四半期包括利益	14,946	196,800
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,946	196,800
非支配株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 (自　2025年４月１日 至　2025年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　2026年４月１日 至　2026年６月30日)
減価償却費	43,722千円	44,507千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　2025年４月１日　至　2025年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	身の回り品事業	フレグランス事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,597,693	451,090	3,048,784	―	3,048,784
計	2,597,693	451,090	3,048,784	―	3,048,784
セグメント利益又はセグメント損失（△）	167,229	△82,417	84,812	△32,690	52,121

(注)１．セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△32,690千円には、棚卸資産の調整額6,120千円と各報告セグメントに配分していない全社損益△38,811千円が含まれており、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益又は経常損失（△）と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　2026年４月１日　至　2026年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	身の回り品事業	フレグランス事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,312,496	499,652	2,812,148	―	2,812,148
計	2,312,496	499,652	2,812,148	―	2,812,148
セグメント利益又はセグメント損失（△）	4,426	△61,980	△57,554	△37,324	△94,878

(注)１．セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△37,324千円には、棚卸資産の調整額△15,460千円と各報告セグメントに配分していない全社損益△21,863千円が含まれており、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益又は経常損失（△）と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。